

グループ企業理念

私たちのそばにいつもある紙。そしてその向こうにある限りない可能性。当社グループは、社会課題の解決に取り組むとともに、紙の限りない可能性を追求し、新たな価値の創出に挑戦しています。また、社会と地球環境のよりよい未来を拓くことを使命とし、すべてのステークホルダーの皆様から信頼される企業を目指していきます。

Our Corporate Spirit (グループが大切にすべき価値観)

誠実をもって人の礎とし、
公正をもって信頼を築き、
調和をもって社会に貢献する。

Our Principles (グループ役職員が積極的に実践すべきこと)

Change 社会の変化を的確に捉え、迅速果断に自らを変革します。
Challenge 強い信念、高邁な向上心をもって、新たな領域に挑戦します。
Create 多様性を尊重し、世界規模で新たな価値を創造します。

Our Mission (グループの使命)

社会と地球環境の
よりよい未来を拓きます。

Corporate Slogan (コーポレートスローガン)

紙、そしてその向こうに
Paper, and beyond

グループブランド

OVOL

今、世界では気候変動や資源循環、人権をはじめとするさまざまな社会課題が顕在化し、企業にはその解決を通じた持続的な価値創造が求められています。日本紙パルプ商事グループは、経済価値と社会価値の両立を図るサステナブル経営を推進し、社会とともに成長する企業グループを目指しています。その実現に向けて、グループブランド「OVOL(オヴォール)」のもと、ステークホルダーとの価値共有を図るとともに、多様な事業と人材を有するグループの結束力を高め、総合力の発揮による価値創造を推進しています。「OVOL」は、グローバルに広がる事業展開を象徴する“O”と、未来への飛翔を意味する“VOL”への想いを込めたブランドです。多様な事業と人材を結び付ける共通の価値基盤として、グループシナジーの創出と成長戦略の加速を図りながら、「紙の新たな力」を起点とした価値創造を通じて、長期ビジョンの実現と持続可能な社会の発展に貢献していきます。

詳細はウェブサイトを
ご覧ください。



Index



イントロダクション

グループ企業理念	1
Index	2
日本紙パルプ商事グループの 未来への道筋	3
統合報告書2026で お伝えしたいポイント	4
数字で見る 日本紙パルプ商事グループ	5



Section 1
価値創造ストーリー

トップメッセージ	8
価値創造のあゆみ	15
価値創造プロセス	16
マテリアリティへの取り組みと提供価値	17
インプットする資本	18
3つの強み	20
社会と地球環境の よりよい未来を拓くために	21
ステークホルダーへの提供価値	23
【特集】価値創造事例	
①紙の持つ価値と魅力を 次世代へと伝える —探究と発信による 新たな需要創出	25
②素材を売るだけではない —グローバルな調達力と 提案力で脱プラ市場を創造する	27



Section 2
戦略と強み

経営戦略解説 ～ OVOL長期ビジョン2030 および中期経営計画	30
財務・資本戦略	35
事業概況	42
事業セグメント	
国内卸売	43
海外卸売	45
製紙加工	47
環境原材料	49
不動産賃貸	51
TOPICS	
①英国紙流通における サステナビリティを牽引する PPGの取り組み	
②オリジナリティあふれる「紙化」提案で 紙の新たな需要を創出する	52
日本紙パルプ商事のDX	53



Section 3
持続的成長の基盤

サステナブルマネジメント	57
マテリアリティ	59
マテリアリティ特定プロセス	61
環境	62
社会	69
人材	72
ガバナンス	78

Section 4
データ

連結財務ハイライト	103
グループ会社 (国内)	105
グループ会社 (海外)	106
株式情報 / 会社情報	107

報告対象範囲など

対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日
(一部、2026年4月以降の活動内容を含みます)

対象組織：日本紙パルプ商事単体およびグループ会社

次回発行予定：2027年9月

参考にしたガイドライン

Environment
Social
Governance

● IFRS 財団「国際統合報告フレームワーク」
● 経済産業省「価値協創ガイダンス」

価値協創
ガイダンス

将来の見通しに関する注意事項

本報告書は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本報告書の作成時点において行った予測などをもとに記載しています。これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しています。したがって、将来の実績が本報告書に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をあらかじめご了承ください。

日本紙パルプ商事グループの未来への道筋

当社グループは、これまで培ってきた「信頼」と独自の「強み」を基盤に、需要構造が変化する紙業界においても持続的な成長をしていくために、「OVOL長期ビジョン2030・エクセレントカンパニー」の実現に向けた変革を進めています。本報告書では、「中期経営計画2026」の進捗を通じて、2030年のあるべき姿の実現に向けた成長戦略、事業基盤、サステナブル経営の取り組みを財務・非財務の両面から分かりやすくお伝えします。



競争優位・差別化の源泉

変革を支えるこれまで培った「信頼」と「強み」

紙需要の減少や需要構造の変化に対応し、流通機能の高度化と事業多角化を推進。独自のポジション確立に向けた基盤を築いてきました。

成長基盤としてのサステナビリティ

サステナビリティを成長基盤と位置づけ、経済価値と社会価値の両立を通じて、持続的な企業価値向上を実現していきます。

マテリアリティ

環境	社会	人材	ガバナンス
- 気候変動 - 資源循環 - 生物多様性 - 環境負荷	- サプライチェーン - デジタル化 - 地域社会	- 労働環境 - ダイバーシティ&インクルージョン	- コーポレートガバナンス - コンプライアンス - ステークホルダーエンゲージメント

統合報告書2026でお伝えしたいポイント

3つの強み

[詳しくは ▶P.20](#)

1

紙の可能性を追求する 「提案力」

紙に関する高度な専門性を活かして、
その機能・価値を最大化し、
新たな需要の創出へ

2

循環型社会を 収益機会に変える「技術力」

難再生古紙を再資源化する独自の技術により、
社会課題の解決を図るとともに、
新たな事業機会の創出へ

3

幅広い事業セグメントと地域・業態の広がり を活かし、アセットを融合する「組織力」

多様な業態とグローバルに展開する事業を有機的に結び付け、
顧客・パートナーとのアライアンスを通じて
幅広い新たな価値の創出へ



社会と地球環境のよりよい未来を拓く事業活動

[詳しくは ▶P.21-22](#)

Sustainability

活かし続ける、循環をつくる

Globalization

国境を越える、地域に根差す

Innovation

新たな価値を創造する



長期ビジョン2030実現に向けた仕組み・仕掛けづくり

1

長期ビジョン実現を担う 役職員の「ワークエンゲージメント」向上

共感と当事者意識を高め、
役職員の力をさらに成長の原動力へ

[詳しくは ▶P.72](#)

2

世界最強への 成長基盤を広げる「M & A」

補完的M&Aを継続しつつ、
戦略的M&Aにより事業基盤を拡張

[詳しくは ▶P.33](#)

3

守りのみならず、 勝ち残るための攻めの「DX」

業務効率化にとどまらず、営業力強化など、
競争力を高める攻めのDXの加速へ

[詳しくは ▶P.53-55](#)

数字で見る日本紙パルプ商事グループ (2026年3月31日現在)

あゆみと基盤

1845年の創業以来、紙の卸売を中心に事業の多角化を図り、紙の可能性を広げ、提供価値を拡大してきました。

創業・事業継続年数

181年

東証上場(1972年)以降
黒字継続(経常利益)

54年

グループ会社

132社

連結業績

当社グループは、事業ポートフォリオの多角化を戦略的に推進するとともに、各セグメントの競争力強化に継続的に取り組んでいます。これらの取り組みを通じて既存事業とのシナジーを創出し、グループ全体の持続的な成長と安定的な収益基盤の確立を目指しています。

売上収益

6,068億円

経常利益

109億円

当期純利益

47億円

ROE

3.6%

配当性向

86.1%

財務健全性

安定した収益と有利子負債の適正管理による財務の健全性を維持しており、格付機関から「A 安定的」格付を取得しています。

ネットD/Eレシオ

0.60倍

発行体格付

格付投資情報センター
(R&I)

A

日本格付研究所
(JCR)

A

人的資本

グループブランド「OVOL」のもと、グループの結束力を高め、グループ内の多様な人材を活用し、成長戦略を加速させています。

連結従業員数

4,705名

連結女性従業員比率

27.0%

単体平均勤続年数

20.5年

紙の価値や魅力を社会に伝える取り組み

詳細は ▶P.25

「出前教室」「ワークショップ」「紙の研究会」3つの活動を通じて、紙の価値や魅力を広く社会に伝えています。

ワークショップ(2025年度)

参加社数 **46**社 参加人数 **48**名

出前教室・イベントの参加児童数(2025年度)

200名超

環境関連事業

古紙再資源化をはじめとするリサイクル事業や再生可能エネルギーによる発電事業などの環境関連事業に加え、古紙を原料とした製造事業を展開し、持続可能な社会と地球環境への貢献を目指します。

環境原材料セグメントの売上収益

200億円

リサイクル事業拠点

24ヵ所

古紙ヤード23ヵ所
総合リサイクル事業拠点1ヵ所

再生可能エネルギー関連事業拠点

7ヵ所

再生可能エネルギーによる発電拠点3ヵ所
PKS(アブラヤシの実の種殻)在庫拠点4ヵ所

古紙を原料とした製造拠点

6ヵ所

グローバル

世界有数の紙流通企業として、グローバルな調達・供給体制を構築しています。

売上収益海外比率

58.4%

販売先国・地域(日本を含む)

106ヵ国・地域

事業拠点がある国・地域

22ヵ国・地域

海外事業拠点従業員数比率

53.5%

